

平成27年美濃加茂市教育委員会 11月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

平成27年11月26日(木) 午前9時00分から午前10時46分まで
市役所分庁舎4階 第1会議室

2 出席者

(教育委員)

委員長 安江 ちか子
委員 渡邊 須美樹
委員 横堀 優子
委員 加納 義章
委員 矢島 良子
教育長 日比野 安平

(事務局)

事務局長 小田島 史佳
学校教育課長 古川 一男
教育センター次長 中島 永至
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重

3 開会 午前9時00分

4 議事日程等

(1) 教育委員長あいさつ

(2) 教育長報告

(3) 6月定例会会議録の承認について

(4) 7月定例会会議録の承認について

(5) 議題

1. 議第10号 平成27年度 一般会計補正予算について
2. 議第11号 美濃加茂市教育委員会委員長の選任について
3. 議第12号 美濃加茂市教育委員会委員長職務代理者の指定について

(6) 協議・報告事項

(7) その他

1. 教育センター
2. 学校教育課の行事予定

会 議 録

(1) 委員長あいさつ

安江委員長

※委員長から開会のあいさつ

(2) 教育長報告

日比野教育長

※教育長からの報告

- ・学校歯科保健大会では、学校の先生方の協力で準備から当日まで進めることができた。と歯科医師会の会長さんがお礼の挨拶に来られた。
- ・津田左右吉の作文発表会では、小学生の児童が涙を流しながら自分の作文を朗読していたのが印象的であった。
- ・ビブリオバトルでは、山手小のお母さんが優勝された。全体的に多彩な発表で良かった。
- ・早稲田大学の坪内逍遙大賞の発表があり、詩人の女性と小説家の若い方2人が受賞された。この賞の受賞者は過去すぐ直木賞か芥川賞を受賞されることがあり、大変評判が高くなっている。
- ・吉永小百合さんが10月に菊池寛賞を受賞された。朗読が評価されたもので、美濃加茂市の坪内逍遙大賞の受賞理由と同じである。
- ・JICAの設立50周年大会に参加してきた。西中の教諭がJICAでブラジルへ派遣されたことがある。東日本大震災のときには、貧しい国々からも支援の物資や義捐金が届いたとのこと。JICAの地道な活動のおかげ。
- ・横浜市の最大規模の中川西中学校を訪問してきた。団地の中にある学校で、民間会社出身の女性の校長先生とお話をしてきた。
- ・岐阜大学の名誉教授の小山田隆明先生から送られてきた詩の小冊子から、「立ち止まる」という詩を紹介。

(3) 6月定例会会議録の承認について

安江委員長

それでは、6月定例会会議録の承認について、何かございましたらお願いします。

※語句の一部削除の申出があり、削除することとした。

(4) 7月定例会会議録の承認について

安江委員長

続きまして、7月定例会会議録の承認について、何かございましたら

お願いします。

※小規模特認校制度に関する箇所について文言の修正の意見があり、修正することとした。

(5) 議事

議第10号 平成27年度 一般会計補正予算について

安江委員長

では議事に入らせていただきます。

議第10号、平成27年度一般会計補正予算について、よろしくお願
いいたします。

長谷川課長補佐

※議第10号平成27年度一般会計補正予算のうち、小学校運営事業費
及び中学校運営事業費について資料に基づき説明。

- ・小学校運営事業については、児童用の机や椅子の更新のため、2,002千円。机が128台、椅子が178台。蜂屋小学校の1クラス増に伴うロッカーや配膳台などの購入のため、1,640千円。小学校費合計3,642千円を補正する。
- ・中学校運営事業については、生徒用の机や椅子の更新のため、2,419千円。机が224台、椅子が274台。その他、西中学校の会議用長机の購入のため、494千円。中学校費合計2,913千円を補正する。
- ・小学校の机椅子は、成長に合わせて高さ調整できる物に入れ替えている。更新は計画的に進めていきたい。

日比野教育長

この時期の補正予算で購入しようとする机椅子の台数が非常に多いのですが、毎年これぐらい補正が必要になるものなのか。当初予算で組んでおいたほうが良いと思うが。

長谷川課長補佐

今年度予算には組み込まれておらず、机椅子の購入は補正予算で対応することとしました。しかしながらこの度、財政当局から、計画を立てて継続的に更新していくよう指示がありました。今後は当初予算で要求していくこととしたいと思います。

古川学校教育課長

※議第10号平成27年度一般会計補正予算のうち、幼稚園就園奨励費
について資料に基づき説明。

- ・幼稚園と保育所との負担の平準化、低所得者世帯と多子世帯の保護者の負担の軽減を図る目的で国の事業として行われているもの。
- ・当初予算に加え、総額7,226千円を補正する。
- ・理由は、国庫補助の限度額が4月に新たに改定されたことと、補助の対象者(3・4・5歳児)が当初の想定よりも増加しているため。

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定財源として、国庫支出金1,542千円を見込んでいる。
安江委員長	何か質問等意見がありましたらお願いいたします。
渡邊委員	説明の中で「幼稚園と保育所との負担の平準化」と言われたが、「平準化」とはどういう意味か。
古川学校教育課長	保育所は世帯の収入によって保育料が変わります。幼稚園についてもお金の負担を同じようにするため、国が補助をしていこうという事業であり、それが「平準化」ということです。
渡邊委員	幼稚園就園奨励費補助にて低所得世帯と多子世帯の保護者負担の軽減を行うというのは、幼稚園に子どもさんが通っている世帯に補助金を出しているということですか。
古川学校教育課長	収入及び子どもの数によって補助しているということです。 今回の補正では、1世帯当たり290千円、19世帯の増加を見込んでおります。
安江委員長	他にはよろしいでしょうか。 では、議第10号は承認するというところでよろしく申し上げます。

議第11号 美濃加茂市教育委員会委員長の選任について

安江委員長	次に、議第11号美濃加茂市教育委員会教育委員長の選任についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。
小田島事務局長	<p>※教育委員長の任期及び選任方法について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正になったが、教育長の在任期間に係る経過措置により、教育委員長の職は、現教育長の任期まで存続する。 ・選任方法は、法律及び市の規則の規定に基づき、委員（教育長を除く）のうちから委員長を選挙し、無記名投票により有効投票の最高多数を得た者とする。 ・任期は、安江委員長の任期が12月13日にて満了するため、新教育委員長の任期は12月14日から1年間のところ、現教育長の任期の平成28年11月27日となる。その後、教育委員長の職は教育長と一本化される。
安江委員長	ありがとうございました。ただ今の説明のとおり、教育長を除く委員のうちから委員長を選ぶこととしております。無記名投票をお願いします

す。

※事務局から投票用紙を配布し、各委員が投票。

※事務局にて開票を行った。

安江委員長

ただ今の結果を報告します。渡邊委員 5 票、安江 1 票。よって最多得票の渡邊委員さんを教育委員会委員長として選任いたします。

渡邊委員

※選任に当たり、挨拶

・教育委員会制度改革により最後の教育長となる。美濃加茂市の教育のために頑張りますのでご協力をお願いします。

議第 1 2 号 美濃加茂市教育委員会委員長職務代理者の指定について

安江委員長

続きまして、議第 1 2 号美濃加茂市教育委員会委員長職務代理者の指定について、事務局から説明をお願いします。

小田島事務局長

※教育委員長職務代理者の指定方法及び任期について説明

- ・職務代理者についても委員長と同様の方法により、選挙の結果最高多数を得た者が職務代理者として指定される。
- ・任期は、渡邊委員長の任期と同様、平成 2 8 年 1 1 月 2 7 日となる。

安江委員長

それでは、教育委員長職務代理者について選挙を行います。事務局は投票用紙を配布してください。

※事務局から投票用紙を配布し、各委員が投票。

※事務局にて開票を行った。

安江委員長

それでは、結果をご報告します。矢島委員 5 票、安江 1 票。よって最多得票の矢島委員を教育委員会委員長職務代理者として指定いたします。

矢島委員

※指定に当たり、挨拶

・本当に驚いております。委員長代理という重責に不安ではありますが、どうかよろしくをお願いします。

安江委員長

ありがとうございました。

任期は 1 2 月 1 4 日からとなります。渡邊須美樹委員長さん、職務代理者の矢島委員さん、よろしくをお願いします。

渡邊委員

一言よろしいでしょうか。

県内でも北のほうではスキーをやったり、南のほうでは川で遊んだりして、本当にその地域の特色を活かした学習活動を行っています。そのために一生懸命ボランティアを集めて協力してもらったりしています。

視察研修もそうですが、他県へ視察に行ったりすることもあるんですが、県内でもいろいろ調べてみると良い取組みを行っているところがたくさんあります。小学校でもわざわざ予算を使って海へ行って研修しているというところもあるんですけど、海でなくても郡上の長良川ではどうなのかという話もできると思います。身近な所でいろんな交流が出来ること更に岐阜県の中での活性化につながるのではないかと思います。県内の他の市町村の取組みなどについての情報を探していただいて、そういうまちと連携ができると非常にいいのではと思いました。

安江委員長

例えば学校規模に関してでも、県内には当市よりも小規模校がある地域がありますので、そういう地域から学ぶことがあると思います。また、インターネットで簡単に見られるからということをよく聞くのですが、私たちもインターネットを活用し、学ばなければいけないと思います。

日比野教育長

おっしゃるように、全国にはいろんな施策がありますし、補助金が交付されたりするので、是非取り組んで欲しいと思っています。学校特色化予算に係る事業の中間報告が先日ありましたが、各学校での取組みは、アイデアを練って練って自分の学校にふさわしいことを行おうとしていますし、またそれらの情報発信の仕方も工夫していきます。また、事業の内容については前年度に予め決められるわけですが、校長の異動や退職に伴って新しく赴任した校長の考えがなかなか反映できないという課題もあるのではと感じています。

情報発信に関しては、この予算で加茂野小学校ではクライミングウォールが設置されましたが、それが新聞に掲載されまして、記事を見た高山署が山岳レスキューの専門家を送ってもいいという話があって、加茂野小の子どもたちが山岳レスキュー隊員から御嶽山噴火の際の救助活動の話などを直接聞かせてもらえることになりました。

(6) 協議・報告事項

(7) その他

1. 教育センター

安江委員長

ありがとうございました。

本日は、協議・報告事項はございませんので、その他に入らせていただきます。

教育センター中島次長、よろしく申し上げます。

中島センター次長

※資料に基づいて教育センターの取組について説明

- ・ 当市における不登校児童生徒数の状況について
- ・ 不登校の外国籍児童生徒への対応について
- ・ 相談件数、来室者数など
- ・ ひきこもり対応について（学校－家庭－センターを繋ぐ）

日比野教育長

全児童生徒数における外国籍児童生徒数は減っていますが、不登校の外国籍生徒数は増えている。不登校を全く無くすということは非常に難しいですが、市内の外国人数もブラジル人が減ってフィリピン人が増えてきている状況で、両国の義務教育に対する考え方などの要因もあるのではと考えられないこともないですが、中学校3校について分析をして、現場に働き掛けていくことが大事であると思います。不登校の外国籍生徒数が増えていることは大きな課題であると思います。

中島センター次長

中学校で不登校になっている前に、小学校でも居づらさがあったのではないか。学校からはその子に関して引継ぎを受けていて、それぞれの支援の仕方などを考えてはおります。しかしそれでも増えてきていますので、手を打っていくべきところは強化していく必要があると思います。

渡邊委員

先日名古屋で地下鉄に飛び込んで亡くなった中学生のことを新聞などで見聞きしますが、心理テストで「要支援」という結果が出ていたにも関わらずあのような事態になってしまったとのこと。不登校になってしまってからではなく、その前に兆候がきつとあると思うんですけど、それに気づいた時点で早く手が打てるようにしていかないといけないと思います。先生方は大変だと思いますが、やはり「おかしいな」と思ったときに手当をしておけば自殺までに至らずに防ぐこともできるのではないかと思います。心理テストやハイパーQ Uの結果が出るわけですが、その結果となる前に何か現象が起きているはずなので、先生方にはそういう子どもの様子に気づいていただいて早め早めに支援していただけると良いと思います。

日比野教育長

当市はハイパーQ Uを取り入れて、年間2回検査していますが、意識を持ってQ Uテストの結果を精査しなければ意味がありませんから、一番子どもを見ている先生がハイパーQ Uテストの結果をよく理解して子どもに関わるようお願いしています。小学校と中学校との全欠席児童生徒数を比較すると中学校で10倍になる訳ですから、どこかに原因があると思います。

安江委員長

兄弟姉妹での不登校もあると思いますが。

日比野教育長

上の子が学校へ行かない家庭では、下の子で学校へ行くことに疑問を

持つ子もいます。そういう背景なども細かく分析をして、どのようにその家庭に入り込んでいくか、どう親に働きかけていくか、難しいことではありますが取り組まなければなりません。

安江委員長

かつての美濃加茂市では、主任児童委員の方が学校へ行って子どもたちの様子を聞かせてもらったりしていましたが、近年では、個人情報とかプライバシーの侵害などのこともあって、なかなか子どもたちに関わっていけなくなった。やはり、学校や教育センターだけでなく、地域で活動してみえる方たちへの声かけも必要だと思います。

日比野教育長

私が以前赴任していた加茂農林高校では、中学校時代に長欠だった生徒が、高校では皆勤賞や精勤賞となることもありました。加茂農林高校は実習が入ったりしてその生徒に合っていたということも勿論大きな理由だと思いますが、それにしてもそれだけ大きく子どもが変われるのですから、どこか固定観念で子どもを見てやしないかとか、何か手立てがありはしないかと本当に思います。本市だけではなくて、全国的にこういう傾向があるようです。日本だけの話ではないかもしれません。

中島センター次長

もう一つは、発達障がいのお子さんの二次障がいということも新たに出てきました。特に中学校へ行って居づらさが増幅し、学校へ行けないというお子さんもいます。また整理してお話します。

2. 学校教育課の行事予定

安江委員長

学校教育課の行事予定を古川課長お願いします。

古川学校教育課長

※資料に基づいて説明
・12月、1月の行事予定を説明

その他

安江委員長

それでは次回の定例会の日程をお願いします。

小田島事務局長

※日程調整

安江委員長

次回は12月22日(火)10時から、場所は同会議室で開催します。それでは11月の定例会を終わらせていただきます。お疲れさまでした。

閉会 午前10時46分